

令和5年度 大阪府立福泉高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

20230726

於：本校会議室

- 1 学校長挨拶
- 2 委員長選出
- 3 委員長挨拶
- 4 学校運営協議会委員、事務局員自己紹介
- 5 学校経営計画およびスクールポリシーについて（校長より）

学校経営計画は昨年度協議会で了承をもらったもの。

中期的目標より「学び続ける力」の育成をめざし、生徒が興味関心を持てる魅力ある授業を行うについて。先生方は授業をメインに頑張してほしい。生徒とのかかわりや授業へのこだわり（思い）を授業見学で見ている。文章で各先生へフィードバック。

「未来を切り拓く力」の育成をめざし、生徒個々の進路実現につながる声かけを行うについて。在学中に進路を決めて、夢を実現できる声かけをお願いしている。

「他者と協働できる力」の育成をめざし、生徒に寄り添った温かい生徒指導を行うについて。傾聴の姿勢でいろいろな生徒への声かけ。

「信頼される学校」「協働する学校組織」をつくりあげるについて。ホームページの充実。校長からの発信（福泉だより）、TOP ページに大きな行事も校長より掲載している。また、中学校訪問も精力的に実施していく。

Q：選挙権をもつ高校生に対して選挙の重要性を学ばせてほしい。重点目標に記載してほしい。各政党から講話をしてもらう。高校生がわかる言葉で話してもらう。などの取り組みをおこなっていただきたい。

A：そのような取り組みも今後検討していく。まずは授業を通じて学んでいく。

スクールポリシーについて。大阪の魅力ある学校づくりのために作成。3つの観点「グラデュエーション・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」「アドミッション・ポリシー」より作成。

Q：「より良い生徒をより良く」と読み取れる。勉強が苦手な生徒たちに対してはどのような教育や支援をおこなうのか？

Q：このような文章を作成するさいは、保護者に対して説明したり、意見を取り入れたりしているのか？文章が実態とかけ離れているように感じる

A：「学び直しによる基礎基本の定着」のように、勉強が苦手な生徒に対する支援についても明記しており、現在もそうした取り組みを続けている。保護者に対して説明する機会や、意見を聞く機会は殆どない。文章についてはある程度体裁を整える必要があるため致し方ない。学校経営計画を含め、来年度は今までとは違う新しい形を示したいと考えている。

6 今年度の取り組み状況について

（生活指導部）

重大事案の減少、軽微な事案の増加、人間関係トラブル増加、SSW の配置、近隣からの通報→最近は落ち着いてきた。

（教務部）

来年度の使用教科書選定報告。実物用意。

（進路指導部）

今年度の進路計画、現 3 年生の状況→未定者、未決定者をできるだけ減らす。

1・2 年時からの意識付け。

（生徒会）

生徒会行事について、部活動の現状。

A：中学生の部活動加入率は 8～9 割。本校の加入率は 20%以下となっている。テコ入れする必要があるのでは？

Q：高校でも部活動を頑張ろうと思っている中学生にとっては進学先の選択肢に入っていないのが現状。部活動の体験週間など、加入率アップの取り組みを行っているが、なかなか定着しない。今年度より合同部活動が実施。小規模だが懸命に活動しているクラブ、生徒もあり、レスリング部は近畿大会にも出場。

7 その他

Q：堺市の古紙廃棄方法の変更について。堺市の事業所としてはどのような対応を考えておられるか（事務局より委員へ）

A：堺市による説明会やセミナーに参加予定。その内容を精査し、今後の廃棄方法・業者の選定等をおこなう。また、可能な限りペーパーレス化をおこない、古紙の廃棄量自体を減らす。